

ビギナー向けレッスン



10 分でまなぶ

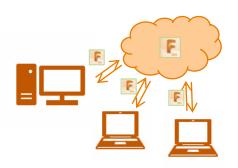
ユーザーインターフェースとビュー操作

- 1-1 データパネルからファイルを開く
- 1-2 ユーザーインターフェース
- 1-3 ビューの操作
- 1-4 表示方法の変更
- 1-5 モデルの断面表示
- 1-6 データの保存

1-1 データパネルからファイルを開く

データパネルとは

- Fusion 360 で作成したファイルや、ア ップロードしたファイルを保存する場 所です。
- データパネルに表示されるデータはクラウド上に保存されています。インターネットにつなげば、別のデバイスからもデータが編集できます。

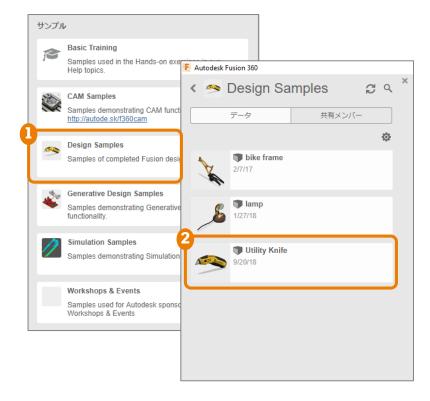


■ 画面左上のアイコンをクリックして、 開閉します。



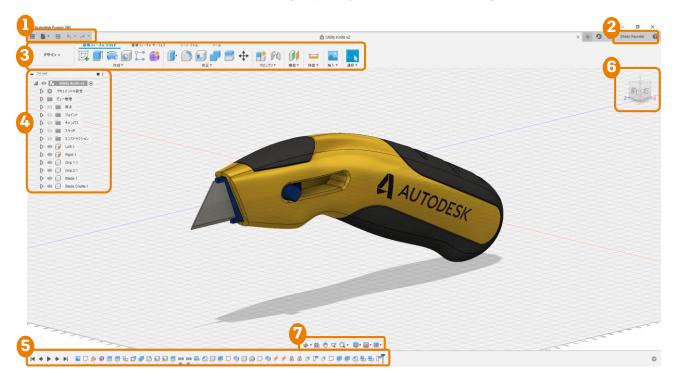
ファイルを開く

- プロジェクトやファイルは、ダブルク リックして開きます。
- データパネルを開いて、プロジェクト [Design Samples] 内にあるファイ ル [Utility Knife] を開いてみましょ う。
- 🚺 [Design Samples] をダブルクリック
- 2 [Utility Knife] をダブルクリック



1-2 ユーザーインターフェース

■ Fusion 360のユーザーインターフェース(操作画面)について説明します。



1. アプリケーションバー

■ 左から、 [データパネル] 、 [ファイル] 、 「保存] 、「戻る] 、「やり直し」です。

2. プロフィールとヘルプ

- 基本設定から、操作、座標軸、単位など各種 設定ができます。
- Autodeskアカウントの設定ができます。
- サインアウトもここからします。
- ヘルプからはFusion 360 公式チュートリアル 動画を見ることができます。
- 困った時にはフォーラムから質問ができます。

3. ツールバー

- ワークスペースの切り替えをします。
- ワークスペースに応じたコマンドが表示されます。

4. ブラウザ

- スケッチやボディなどが並びます。
- **②** をクリックして、オブジェクトの表示・非表示を切り替えます。

5. タイムライン

- 行った操作のアイコンが順番に並びます。
- 履歴の管理や編集ができます。

6. ビューキューブ

■ 視点の変更に使います。

7. ナビゲーションバーとディスプレイ設定

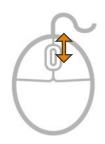
- 視点操作のためのコマンドがあります。
- モデルの表示スタイルを変更できます。
- グリッドの表示・非表示を切り替えられます。

1-3 ビューの操作

マウスとキーボードでのビュー操作

■ Fusion 360 の操作には、ホイール付きのマウスが適しています。

ズーム(拡大・縮小) ホイールを前後に スクロール



画面移動(平行移動) ホイールを押しながら ドラッグ

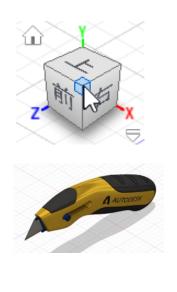


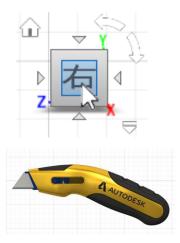
オービット(回転) [Shift] キーとホイール を押しながらドラッグ

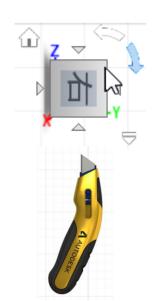


ビューキューブでの視点操作

- 画面右上の [ビューキューブ] はモデルを特定の向きにしたいときに使います。
- [ビューキューブ]の青くハイライトされる部分をクリックすると、その方向からの視点になります。
- | ☆ | をクリックすると、モデル全体が収まるように視点が移動します。
- 右クリックで、正投影とパースの表示が切り替え可能です。





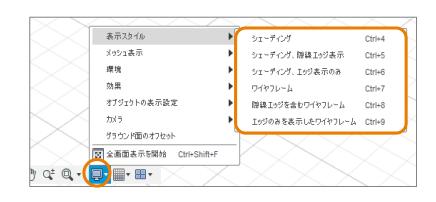




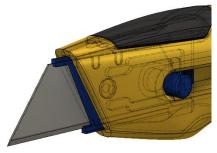
1-4 表示方法の変更

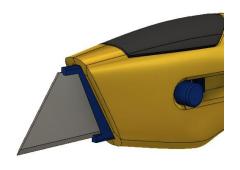
表示スタイルの変更

- 画面中央下にある [表示設定] > [表示スタイル] から、表示スタイルを切り替えます。
- デフォルトでは [シェーディング、エッジ表示のみ] で表示されます。







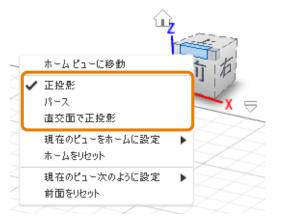


シェーディング

シェーディング、隠れ線エッジ表示 シェーディング、エッジ表示のみ (デフォルト)

正投影とパースの切り替え

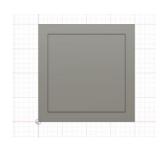
■ ビューキューブを右クリックすると、 正投影とパースの表示が切り替えられます。



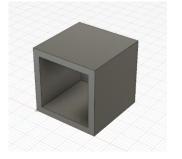
正投影での表示

奥の面と手前の面が同じ大きさで表示されます。





奥の面が手前の面よりも小さく表示されます。 現実での見え方に近いです。



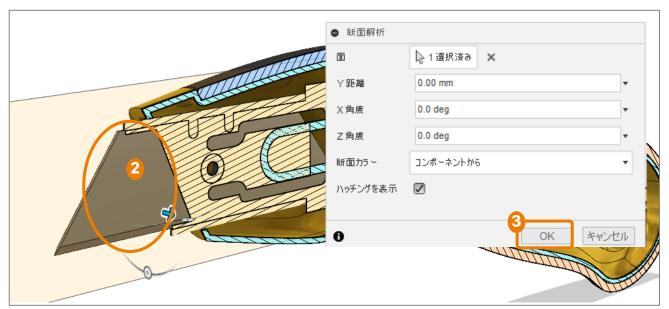


2019/09/10 Fusion 360 ビギナー向けレッスン

1-5 モデルの断面表示

- [検査] ツールの [断面解析] を使うと、モデル断面を見ることができます。
- 「断面解析」を使うとブラウザ内に「解析」フォルダが作成されます。
- 🕕 [検査] > [断面解析] をクリック
- 2 断面表示にしたい向きの平面を選択
- **3** [OK]



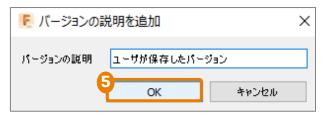




1-6 データの保存

クラウド内のプロジェクトに保存

- Fusion 360 アーカイブファイル(.f3d)形式で 保存されます。
- 保存が完了するとデータパネルに表示されます。
- 2回目以降は上書き保存になりますが、クラウド 上にはバージョンごとに保存されています。
- 🚺 左上の[保存]をクリック
- 2 「ファイル名〕を記入
- 3 保存するプロジェクトを選択
- 4 [保存]
- 5 2回目以降の保存では、 バージョンの説明を入力し、 [OK]



ローカル コンピュータに保存

- 様々なファイル形式で、ローカルコンピュータ にデータを書き出すことができます。
- 代表的な中間ファイル形式のIGES (.igs) や STEP (.stp) で保存が可能です。
- ❶[ファイル]>[エクスポート]をクリック
- 2 [ファイル名]を記入
- 3 [タイプ]でファイル形式を選択
- 🚹[保存先]を選択し、[Save]をクリック
- [エクスポート]

Fusion 360 ビギナー向けレッスン1はこれで終わりです。おつかれ様でした。 次回はモデリングについて学びます♪

